

## 東海テレビ「SDGメディア・コンパクト」に加盟 ～私たちのアクションで未来を作ろう！地域に根差しSDGsの啓発・普及を行います～

東海テレビ放送株式会社は、SDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)の達成を目指すため、国連が世界の報道機関に協力を呼び掛けている「SDGメディア・コンパクト」に2021年1月27日(水)に加盟しました。

これまでに東海テレビは、ドキュメンタリーの制作・福祉活動などで、SDGsの普及や課題解決に取り組んでまいりましたが、この加盟をきっかけに、地域に根差した報道機関として、さらなるSDGsの啓発を行い、地域とともに課題の解決に貢献していきます。



### SDGメディア・コンパクト

2018年9月、国連事務総長が31社の創設メンバーとともに立ち上げた「SDGメディア・コンパクト」は、世界中の報道機関とエンターテインメント企業に対し、その資源と創造的才能をSDGs達成のために活用するよう促すことを目的としています。事実やヒューマンストーリー、解決策を発信することにより、同コンパクトはSDGsに関するアドボカシー(提言)と行動、説明責任の強力な原動力となっています。(国連広報センタープレスリリース 2020年5月19日より)

### 【東海テレビの最近の取り組み】



#### 「ニュースOne」キャンペーン企画「ミライノニュース」

一見すると難しく考えがちなSDGsについて、身近な問題ととらえてもらうキャンペーン企画「ミライノニュース」を夕方放送の「ニュースOne」で定期的に放送しています。三世代が使える木のおもちゃ専門店のほか障がい者アートをビジネスにする取り組みなど、地域から「持続可能な社会」を目指す人々を取材しています。



#### オトナの土ドラ「さくらの親子丼」放送 & 子ども食堂に岐阜の間伐材割り箸配布

「さくらの親子丼」は貧困や虐待に悩む子どもが羽を休める「子どもシェルター」で食事係として働く九十九さくら(真矢ミキ)が、子ども達と向き合い、成長していくストーリーです。

東海テレビでは、2020年10月からの「さくらの親子丼」放送に合わせ、岐阜・郡上の間伐材を利用した番組オリジナル割り箸を全国の子ども食堂に寄付しました。コロナ禍で子ども食堂が開催されない昨今、弁当の配布が増えており、割り箸の需要も非常に多く、感謝の声が寄せられました。